

家庭医療後期研修プログラム

募集定員 2名

期間 3年間

プログラムについて

◆概要

当院は、東京都大田区蒲田にある230床の病院で、近隣の診療所、介護老人保健施設、訪問看護ステーション等と連携して地域における外来、入院、検診、透析、リハビリテーション、訪問診療、訪問看護等のケアを展開しています。

本コースは診療所および中小規模病院で地域に必要とされる医療・保健・福祉の多様なニーズを把握し、患者中心の医療を提供できる家庭医療の専門医・認定医育成を目指しています。

◆到達目標

- ①患者や家族の背景・価値観を尊重し、患者・家族に寄り添い、共に歩くケアを提供できる。
- ②生物医学的問題を把握するとともに患者の心理・社会的側面も考慮したケアを提供できる。
- ③医療・介護・福祉・地域保健のネットワークの中でチームとして医療を実践し、患者に必要な包括的・継続的・効率的な医療を提供できる。
- ④地域の健康に関心を持ち、予防・検診・健康増進のためのプログラムに積極的に関わることができる。
- ⑤研修、発表、研究などを通じて生涯にわたり必要な臨床能力を高めていくことができる。

◆一般目標

医学的、社会的、心理的問題を抱える一人の患者を、病院、診療所、老健施設などを通じて、急性期から慢性期まで一貫して診療することができる医師を目指す。そのため、日本プライマリ・ケア連合学会認定後期研修プログラムに基づき、医療・保健・福祉の連携を理解し、質の高い医療活動を実践し、地域の病院や診療所での第一線の医療を担う医師を養成する。

◆個別目標

- ①「患者中心の医療」の方法を理解し、実践できる。
- ②質の高いコミュニケーション能力を身につけ、良好な医師－患者関係を構築できる。
- ③家庭医・総合医に必要とされる基本的身体診察の技能を修得する。
- ④EBMの理論と方法を理解し、日々の医療活動の中で活用できる。
- ⑤小児、思春期、高齢者、女性などの特性を踏まえた独自のアプローチ法を実践できる。
- ⑥Common Problem（医学的問題だけでなく、心理的・社会的・倫理的問題も含む）に対する対処法を理解し実践できる。
- ⑦家族のライフサイクルを理解し、家族志向のケアが実践できる。

- ⑧地域診断を行い、地域の医療・介護・保健のチームの中で地域包括ケアを必要な患者に対し提供できる。
- ⑨医療経営の評価ができる。
- ⑩健診、予防接種、介護保険制度のシステムを理解し活用できる。
- ⑪リハビリテーション、メンタルヘルスの知識と技術を習得し実践できる。
- ⑫継続的な医療の質の改善が行える。
- ⑬臨床研究と初期研修医・医学生の教育ができる。

※モデルとなるローテーション例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科研修 (6ヶ月) JCHO 東京蒲田医療センター						救急研修 (3ヶ月) JCHO 中京病院			総合診療研修 (3ヶ月) JCHO 東京蒲田医療センター		
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総合診療研修 (3ヶ月) JCHO 東京蒲田医療センター			小児科研修 (3ヶ月) JCHO 群馬中央病院			総合診療研修 (3ヶ月) JCHO 東京蒲田医療センター			リハビリ・老健施設研修 (3ヶ月) JCHO 東京新宿リハビリセンター		
3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	診療所・小病院研修 (6ヶ月) JCHO 高岡ふしき病院 (研修施設 1) 武蔵国分寺公園クリニック (研修施設 2)						選択科研修 (3ヶ月)			総合診療研修 (3ヶ月) JCHO 東京蒲田医療センター		